

○ 学校経営ビジョン

「協力」「協調」「協働」をキーワードに、【チーム南郷】として学校教育目標の具現化に努め、保護者や地域に信頼され、一人一人が輝ける学校づくりを目指す。
 4段階評価 [4 期待どおり 3 ほぼ期待どおり 2 期待を下回る 1 改善を要する] 【 成果○ 課題△ 】

重点目標	評価指標	具体的(数値)目標	方策・手立て	指標評価	総合評価	結果の考察・分析及び改善策	学校関係者評価及びコメント
1 学力の向上(知) ◎ 学ぶ意欲・理解を深め、意義を自ら成す	○ 授業や指導法の工夫・改善 (各種テストの分析・ICT活用・授業研究) ○ 学習規律・学習訓練の徹底(一分前着席・一分前黙想、返事と反応) ○ 家庭学習の質と量の向上(学習オリエンテーション・テスト勉強計画表) ○ 学力を補完する指導内容の充実(読書・各種検定) ○ 特別支援教育の充実	○ 「4+4のチェックポイント」およびプラス1チェックによる授業改善に努め、ICT活用やワークシートの工夫について評価3・4の合計が80%以上を目指す ○ 学習態度育成週間を学期1回実施し、学習態度評価表での毎日の評価が平均4以上を目指す ○ 年5回の定期テストにおいて、テスト勉強計画表を工夫し、各教科の平均に勉強時間が180分以上になるように指導する ○ 校内読書週間を設定し、期間中に1冊以上本を借りさせる ○ 専門機関と連携を図りながら研修会の充実を努める。	○ 計画的な相互参観授業を通して、指導法の工夫・改善をする。 ○ 学習オリエンテーションや学習委員の活用を工夫し、自立して学習する意欲を高めること ○ 文庫や図書室を積極的に活用し、読書習慣を身につけさせる ○ 専門機関と連携を図りながら研修会の充実を努める。	3 3 2 3 3	2.8	○ 授業を導くためのICT活用を推進し、授業の質を向上させる。 ○ 学習規律・学習訓練の徹底を図る。 ○ 家庭学習の質と量の向上を図る。 ○ 学力を補完する指導内容の充実を図る。 ○ 特別支援教育の充実を図る。	○ 授業への理解を深め、意義を自ら成す。 ○ 学ぶ意欲・理解を深め、意義を自ら成す。 ○ 家庭学習の質と量の向上を図る。 ○ 学力を補完する指導内容の充実を図る。 ○ 特別支援教育の充実を図る。
2 心の教育の充実(徳) ◎ 豊かな人間性を育む	○ 基本的な生活習慣の育成(凡事徹底、規範意識の醸成) ○ 情報モラル教育の充実(情報モラルの向上) ○ いじめ・不登校問題への適切な対応(早期発見・早期対応) ○ 自主的な生徒会活動の推進(生徒会行事の企画・運営)	○ 毎月実施する生活点検(生徒自らが自分の身なりや靴を点検する)や規範意識の醸成を図る。 ○ ネットトラブルを防止するために、毎月1回の情報モラル教育を実施する。 ○ 生徒の実態把握を実施するため、毎月生活アンケートや教育相談を実施する。 ○ 生活アンケートや教育相談を実施する。 ○ 毎月、中央委員会を実施し、南郷ポスターなどを積極的に活用しながら学校の現状を確認し、生徒主体での活動を推進し改善を図る。	○ 生活点検の実施や登下校・授業時の並べ指導を実践する。 ○ 情報モラルに関する職員研修等を行う。 ○ 生活アンケートや教育相談を実施する。 ○ 毎月、中央委員会を実施し、南郷ポスターなどを積極的に活用しながら学校の現状を確認し、生徒主体での活動を推進し改善を図る。	3 4 4 3	3.5	○ 生活点検の実施や登下校・授業時の並べ指導を実践する。 ○ 情報モラルに関する職員研修等を行う。 ○ 生活アンケートや教育相談を実施する。 ○ 毎月、中央委員会を実施し、南郷ポスターなどを積極的に活用しながら学校の現状を確認し、生徒主体での活動を推進し改善を図る。	○ 生活点検の実施や登下校・授業時の並べ指導を実践する。 ○ 情報モラルに関する職員研修等を行う。 ○ 生活アンケートや教育相談を実施する。 ○ 毎月、中央委員会を実施し、南郷ポスターなどを積極的に活用しながら学校の現状を確認し、生徒主体での活動を推進し改善を図る。
3 健康・安全な教育の充実(体) ◎ 自ら健康を維持し、命を守る	○ 健康教育の推進(歯の治療率の向上・食育・肥満防止・健康相談) ○ 安心・安全な環境づくり(安全点検・防災教育) ○ 命の教育の推進(性教育・救命救急法) ○ 体力向上の推進(部活動の推進)	○ 対象生徒に定期的な体重測定を行い、肥満(軽度・高度)の割合を5%以下にする。(令和2年度初め7.2%) ○ 避難場所、避難経路の確認を全校生徒で行い、常時、大災に遭っても避難できる生徒率100%を目指す。 ○ 年2回の体験的な活動を計画し、防災意識を高める。 ○ 体力テストの分析結果から自らの体力の現状を理解し、積極的に運動を行う生徒の割合85%を目指す。	○ 対象生徒に定期的な体重測定を推進する。 ○ 避難場所、避難経路の確認を全校生徒で行い、常時、大災に遭っても避難できる生徒率100%を目指す。 ○ 年2回の体験的な活動を計画し、防災意識を高める。 ○ 体力テストの分析結果から自らの体力の現状を理解し、積極的に運動を行う生徒の割合85%を目指す。	3 4 3 4	3.5	○ 対象生徒に定期的な体重測定を推進する。 ○ 避難場所、避難経路の確認を全校生徒で行い、常時、大災に遭っても避難できる生徒率100%を目指す。 ○ 年2回の体験的な活動を計画し、防災意識を高める。 ○ 体力テストの分析結果から自らの体力の現状を理解し、積極的に運動を行う生徒の割合85%を目指す。	○ 対象生徒に定期的な体重測定を推進する。 ○ 避難場所、避難経路の確認を全校生徒で行い、常時、大災に遭っても避難できる生徒率100%を目指す。 ○ 年2回の体験的な活動を計画し、防災意識を高める。 ○ 体力テストの分析結果から自らの体力の現状を理解し、積極的に運動を行う生徒の割合85%を目指す。
4 家庭・地域との連携 ◎ 家庭や地域と連携し、開かれた学校をめざす	○ 学校運営協議会の設置と活用 ○ 家庭や地域への情報発信 ○ 授業や学校行事を通じた日南ふるさと学の充実 ○ PTAや地域の行事への積極的参加 ○ 地域の人材・教育力を授業や行事等で活用	○ 年3回の学校運営協議会の実施と学校が抱える課題の解決を目指す。 ○ 学年・学級通信・HP等による定期的な情報発信を月1回以上を目指す。 ○ 港の町南郷を知る活動や職場 験学習等、総合的な学習の時間を中心に地域に根ざした活動や地域素材を利用した活動を学期1回以上実施し、日南ふるさと学の充実を図る。 ○ 参加の呼びかけを学年通信等で行い、参観日の参加率80%以上、PTA奉仕活動の参加率90%以上を目指す。 ○ 地域コーディネーターと連携し、地域人材を活用した取組を年1回以上実施する。	○ 学校参観や学校評価アンケートによる分析を行い、学校や地域、子供たちが抱える課題に対しての取組を協議する。 ○ 生徒の様子を写真等で記録・共有し、通信の作成をしやすようにする。 ○ 港の町南郷を知る活動や職場 験学習等を通して地域について学ぶ教育活動を行う。 ○ 参加の呼びかけを学年通信等で行い、連絡を密に行う。 ○ 地域コーディネーターを活用し、地域の方々や協力してキャリア教育を充実させる。	4 4 3 3 4	3.6	○ 学校運営協議会での話し合いを基に諸問題の解決に向けて取り組むことができた。 ○ 学級通信に関しては週一回以上、学力の実態等を知らせる学力向上通信やその他の通信も定期的に発行され、積極的な情報発信が行われた。 ○ コロナの影響で実施が見送られたものもあったが、シーカヤック体験、美々鱒さばき、カツオさばき体験など地域について学ぶ教育活動を行うことができた。 ○ 保護者の参加を促し、高い参観率で出席していただいた。(第1回…77% 第2回…74% 第3回…74%) ○ 地域コーディネーターと連携して様々な取組を実施し、キャリア教育の充実を図ることができた。	○ コロナ禍においても家庭・地域との連携を図り、工夫ある教育活動が行われていることが素晴らしい。参観率が高く驚きました。学年通信等による参加の呼びかけの成果が現れていると思います。 ○ アンケートの結果でも示されている通り、この項目については、十分だと思う。ただ、保護者の参観率がもう少し上がればと思います。 ○ 南郷ならではの体験がこれからはできるように思います。 ○ 南郷中の総合は素晴らしいと聞きます。様々な取組ができるように工夫されて素晴らしい。有り難いです。 ○ この重点目標については、全てにおいて、高評価となっています。コロナ禍での連携は、困難な場面もあったことと察します。今後とも南郷ならではの取組をお願いします。

【総評】
 1 本年度の取組について
 「協力」「協調」「協働」を合言葉に生徒・職員が同じ方向を向いて教育活動に取り組んでいる。市内でも一番に校則の見直しに着手するなど「自律型校則」への取組に学校全体の躍動を感じる。
 2 次年度へ向けて
 小学校との連携を強化し、「南郷スタイル」の定着を図りながら、教師の授業力向上と生徒の「学力向上」を目指していく。